

(受理番号) 6-3	(受理年月日) 令和6年1月29日
	陳 情
<p>件 名</p> <p>要 旨</p>	<p>香川県ホームページに掲載されている民間団体に関する記述内容について</p> <p>陳情者の手元に1枚のはがきがある。2021年に〇〇(団体名)の代表〇〇から陳情者に届いたもので、不可解な内容である。以下に一部を抜粋する。</p> <p>「農園もコロナ禍で収入がなくなり、多額の借金ができ、閉鎖する準備で農地を地主の人に返していった」</p> <p>コロナ禍でなくなった収入とは、なんであろう。野菜がコロナウイルスに感染するとは考えにくいので、農業からのものではないと推測する。では補助金であろうか。補助金がコロナ禍で絶たれるというのも考えにくい事態である。</p> <p>香川県健康福祉部によると、〇〇(団体名)が県の委託を受けるようになったのは2020年7月。そして、2022年の時点でも〇〇(団体名)は県の補助金を与えられていた(これは某議員のご教示による)。そうすると補助金でもない。それでは、〇〇(団体名)は、過去にどんな活動から収入を得ていたのか。香川県ホームページでその点を明らかにしていただきたい。</p> <p>それに「〇〇(団体名)は2021年に閉鎖を決意するほどの危機に陥ったが、これこれの経緯で立ち直った」というような記述をあの団体の紹介部に加えていただきたい。いったいどんな魔法で危機を乗り越えたのか?ぜひ知りたい。陳情者のみならず、万人が知りたがるであろう。</p> <p>ちなみに、陳情者は、〇〇(団体名)から「やっぱり閉鎖しないことにした」という連絡を受け取っていない。いまだに。</p> <p>余談だが、陳情者は上記のはがきのコピーを香川県健康福祉部障害福祉課精神保健・人材育成グループの〇〇という人物に届けた。〇〇から「拝見し、課長に伝えた」というような電子メールが届いた。県議会が希望するならばそのメールを転送する。</p>